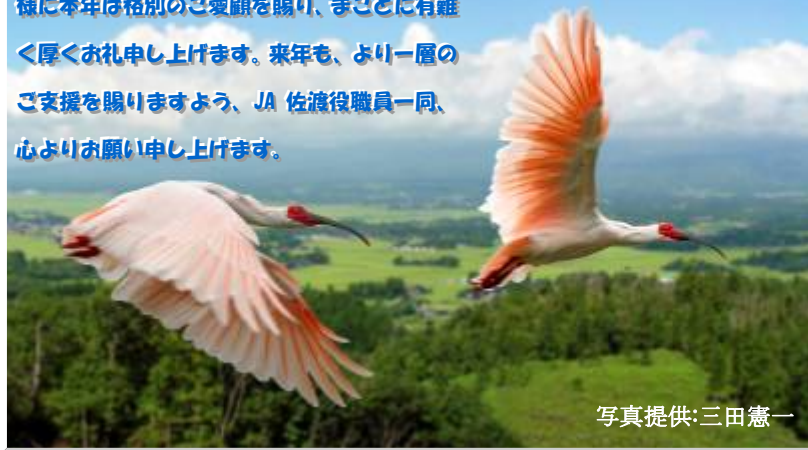


# 佐渡米通信 こめ〜る 12月号



2014 年も残すところあとわずかととなり、皆様には本年は格別のご愛顧を賜り、まことに有難く厚くお礼申し上げます。来年も、より一層のご支援を賜りますよう、JA 佐渡役職員一同、心よりお願い申し上げます。



写真提供:三田憲一

11/26~12/2 横浜市の高島屋の「世界農業遺産フェア」に参加しました。お客様が「佐渡のお米はねばりや甘みがあって美味しいね」との評判をいただきました。



11/29 東京銀座三越で「佐渡の実り」と題して物産展を開催しました。家族連れで訪れたお母さんは「安心・安全の取り組みをしている佐渡のお米を是非子供に食べさせたい」と購入されていました。また、「こめ〜る通信」を見て、会場に尋ねていただいたお客様も。販売した特産品どれも好評で、大勢の方に来店いただきました。



## 佐渡 再発見!

佐渡には、「素晴らしい企業あること、素晴らしい人がいること」を子供たちに知ってもらうことをコンセプトに、佐渡市小中学校 PTA 連合会教育事業の一つとして、11月30日に「佐渡 再発見」と題した取り組みが行われ、島内企業の体験に大勢の親子連れが参加しました。

佐渡を拠点に国際的に活動する「太鼓芸能集団 鼓童」



太鼓体験

クイズに正解すると素敵なプレゼントがゲットできる!



佐渡農協

「食」と「農」と「緑」を守り、かけがえのない自然を未来につなげます!

コースター製作

ボーイング社の飛行機から胃カメラまで、何でも削ります!



サンアロー化成機

シリコンゴム・プラスチック製品製造。安全・安心、医療機器の部品へ!



佐渡精密機



佐渡トキ保護センターで仕事の様子



金子良則さん

トキを育てる人―金子良則(56) 獣医師

かねこよしの

新潟県三条市の出身で、佐渡の海に憧れ、27年前に佐渡に渡りました。

県の職員として23年前に佐渡トキ保護センターに配属された。金子獣医さんが「入った頃は山中の旧トキセンターに、トキは2羽しかいなかった。現在のセンターは20年前に出来た。1999年に中国からトキの友友・洋洋が来て、トキの繁殖が本格的に始まった。優優が生まれて、それからトキがどんどん増えて、2008年に、放鳥を実現し、2012年に野生のヒナが生まれた。現在、野生のトキは130羽くらい、飼育は全部(他の動物園含む)で200羽くらい。いままでを振り返ると、最初は増やすことが大変でした。いまは自然で繁殖する軌道にのりかけたところで、これからは野生に定着させることが重要な課題でもあり、大変です。放鳥してヒナが生まれるまで4年もかかった。トキが増えると、田んぼの苗を踏むから、農家をはじめ地域みんなの協力が大切です。」と話していました。

金子獣医さんは2009年に京都大学の農学博士号を取得しました。休みの日は家族と一緒に農業をやっているそうです。これからの夢については、金子さんが「これからもトキの仕事続けていきたい。生きものを育てる仕事って、なかなかないと思う、まあ、農業と似たものだろう。」とおっしゃっていました。



撮影:三田憲一